

生涯教育研修会報告書

事業部 事発番号 第 12-004 号

平成 25 年 1 月 23 日報告

報告者:荻野和大

所属:三菱京都病院

連絡先:075-381-2111

日時:平成 24 年 8 月 11 日(土) 15:00～17:15

場所:メルパルク京都 6F C号室

主題:第 26 回京都府医師会京都府臨床検査技師会合同研修会

講演 1:高感度トロポニン検査の有用性

講師 1:戸田 圭三 技師(兵庫県立淡路病院)

講演 1:DDP-4 阻害薬の心筋保護作用と心筋バイオマーカーの測定の意義

講師 1:薦本 尚慶 先生(豊郷病院 病院長)

全体参加人数:35 人

日臨技・京臨技会員:14 人

京都府医師会会員:21 人

以下、内容

心不全と心筋バイオマーカー測定と糖尿病治療薬であるDDP-4 阻害薬の効用についての講演。
慢性心不全治療ガイドライン 2010 に掲載されているバイオマーカーのBNPとNT-proBNP値については腎機能の影響をともに受けるが分子量の大きいNT-proBNPの方がBNPより影響を受けやすい。BNPの半減期は 20 分、NT-proBNPは 120 分と長い。BNPは利尿作用などの生理活性があるが、NT-proBNPにはない。NT-proBNPやBNPは、左心室機能が正常でも、肺塞栓、肺性心、肺動脈性高血圧などの迂伸負荷や心房細動などの不整脈で上昇する。糖尿病を合併した慢性心不全患者においてDDP-4 阻害薬シタグリプチンを投与した結果、NT-proBNP濃度には影響を及ぼさずBNP濃度の上昇とBNP/NT-proBNPモル比の上昇に加えてアルドステロン濃度の低下を認めたことから、シタグリプチンが心保護作用を有する可能性が示唆された。